

銚子七中
学校だより

坂東太郎

令和2年2月4日
第22号

校長閑話

COUNT DOWN 閉校まであと 421日



啄木鳥(キツツキ)? トン・トン・トン♪♪

校舎内外を巡回することは、毎朝のルーティンとなっています。今朝(1/15)もいつもと同じように校舎1階を巡り、続いて2階へ、そして中庭を抜けて職員室へ戻ろうとしたとき、頭上よりノックをするような音が聞こえてきました。耳を澄まし、音のする方向へ目を凝らすとそれは小さな縞模様の鳥が懸命に中庭の大木の表面を突いている音でした。本校は周囲を自然に囲まれていることから、様々な野鳥が飛来しますが、初めて見る珍しい鳥でした。早速、調べてみると「コゲラ」という名で、キツツキ科に分類される鳥でした。英名は“Japanese Pygmy Woodpecker”で、日本にいる小さなキツツキの意味ということだそうです。ちなみにキツツキの仲間は日本にコゲラ・アカゲラ・アオゲラ・クマゲラなど10種が分布しています。



1月を振り返って



14日(火) 食育指導教室

5校時に1年生を対象に食育指導教室が行われました。昨今偏食が大変問題視されています。自らの摂食について改めて考え、学び直す良い機会となりました。男子と女子そして活動レベルによって必要なカロリーと塩分量の違いがあることを、コンビニで購入できる食品を例に講師の先生に説明をしてもらいました。生活習慣病予防につながる大事な授業でした。

17日(金) 私立高校入試始まる

いよいよスタートです。3年生にとっては、人生初の大きな関門ですが、家族、先生、そして仲間が一人一人を支えています。自信をもってその大きな壁を乗り越えてもらいたいと思います。Go for it!

23日(木) 校歌 あと何回歌う?

6校時に音楽室で、全校生徒による校歌斉唱と合唱を銚子市役所の方々の立会いの下、録音をしました。この録音は、卒業生への記念品の一部となります。斉唱で2回、三部合唱で2回の録音でしたが、全て全力で歌い上げました。特に、三部合唱についてはきれいなハーモニーとなり、心地よい響きを残しました。

28日(火) アイーン!?

6校時に銚子警察署生活安全課、豊里駐在所の署員の方々のご協力を得て、不審者対応訓練を行いました。不審者役の署員の方の迫真の演技は、いつも訓練に緊張感をもたらしてくれます。生徒も真摯な態度で訓練に臨むことができました。訓練最後には体育館にて、訓練の総括と護身術を学びました。その中の一つに腕を振り解く術を指導していただきましたが、その姿や格好から「アイーンの術」と名付けられているそうです。名前こそ妙ですが、大変効果的な護身術で、生徒は早速練習をし、身に着けることができました。

30日(木) 入学説明会

午後2時より図書室にて令和2年度に入学をする新入生の保護者の方々を対象に入学説明会を開催しました。この説明会も七中最後の行事の一つとなってしまいました。さて、本校では僅か1年間という短い学籍期間となりますが、8名の新入生を七中の職員、生徒と共に来年3月まで、しっかりと責任をもって精一杯面倒をみさせていただきます。そして、閉校までの間に七中の確かな歴史、記憶に残るレガシーを上級生、保護者の方々、地域の方々、本校職員と共に One Team 七中として築き上げていきたいと思っています。

インドはい〜んど!? ⑫



インドでは過酷な気候のため、体調管理には相当力を入れました。特に蛇口から出る水については浄水器を通して、よく煮沸してから飲用したものです。また、マラリアやデング熱予防のため、虫よけスプレーを必ず塗布してから外出をするように心掛けていました。しかしながら、共に帯同していた家内は、体調が弱っていたせいもあり、デング熱に罹患をしてしまいました。日本ではこの季節に風邪やインフルエンザが流行します。その予防策としてマスクが有効ですが、蚊が媒介になっているマラリアやデング熱はその予防策に苦労をしました。栄養を付け、体調を万全にしておくことが一番だったかもしれません。ちなみに当時インドでは、コーラが病気回復には一番効くと言われておりました。その根拠は定かではありません。

